資料２

奈良県スポーツ推進計画（案） 体系図

基本目標	基本戦略		施策の展開方向
だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくり	Ⅰ．だれもがいつでも楽しめるスポーツ	１．総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり	1）スポーツ支援センターの機能の強化
			2）総合型地域スポーツクラブの活動の充実
		２．ライフステージに応じた運動・スポーツの推進	1）子どもの運動・スポーツの推進
			2）成人期の運動・スポーツの推進
			3）高齢期の運動・スポーツの推進
		３．障害者の運動・スポーツの推進	1）運動・スポーツに取り組む機会（参加する
			2）障害のある人とない人が交流できる取組みの推進
			3）身近な地域でスポーツができる環境づくりの推進
			4）障害者スポーツ指導者等の養成
		４．スポーツを支える環境づくり	1）スポーツ指導者の確保、養成
			2）スポーツ情報の提供
			3）スポーツ医・科学によるサポート体制の整備
			4）スポーツ顕彰制度の整備
	Ⅱ．地域で楽しむスポーツ	１．参加型スポーツイベントの実施	1）参加型スポーツイベントによるにぎわいづくり
			2）自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進
		２．スポーツツーリズムの推進	1）スポーツイベント、プロスポーツ観戦を活用した新たな観光メニューの開発
			2）南部地域、東部地域の特色を活かしたスポーツイベントの開発
			3）ウォーキング、ランニング、サイクリングなどのコース情報の発信
		３．スポーツを支える新たな基盤整備	1）スポーツを支え、盛り上げる体制の整備
	Ⅲ．あこがれ・感動を生むスポーツ	１．競技力の向上	1）選手等の発掘・育成強化に対する支援
			2）トレーニングサポート体制の整備
		２．トップアスリート等との連携によるスポーツの推進	1）トップアスリートを活用したスポーツイベントの実施
			2）企業、大学等が有する人材の活用
		３．プロスポーツなどの観戦の機会づくり	1）プロスポーツなどの試合誘致
			2）地域、企業等との連携による支援体制の検討
	Ⅳ．スポーツ環境の整備	１．身近な公共施設等の活用	1）まち中でのスポーツ環境の整備
			2）学校施設等の活用
			3）既存施設の機能拡大
		２．既存スポーツ施設の活用方法の検討	1）橿原公苑施設の計画的整備検討
			2）市町村施設等の検証・整備検討
		３．新たなスポーツ施設の研究	1）新たなスポーツ施設の研究